

自然共生サイト「八竜緑地・金城学院大学の里山」の詳細

場所：八竜緑地・金城学院大学の里山（名古屋市守山区）

面積：18.98ha（内保護区面積：7.11ha）



市ウェブサイト
「自然共生サイト認定
八竜緑地及び金城学院大学の里山について」

生物多様性の価値：

① 生物多様性の恵みを提供する場

在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存在し、自然に親しめる散策路があり、都市部である名古屋にとって生物多様性がもたらす恵み（生態系サービス）を市民に提供する貴重な場所である。

② 希少な動植物種の生息の場

オワリサンショウウオ（IA）、ヒメタイコウチ（II）、マメナシ（IB）、シラタマホシクサ（IB）など貴重な動植物の生息・生育が確認されている（ランクはいずれも市のレッドリスト）。

（参考）絶滅危惧種ランク

絶滅危惧 IA 類・・・ごく近い将来野生絶滅の可能性が極めて高い

絶滅危惧 IB 類・・・IA ほどではないが危険度高い

絶滅危惧 II 類・・・絶滅の危険が増大している

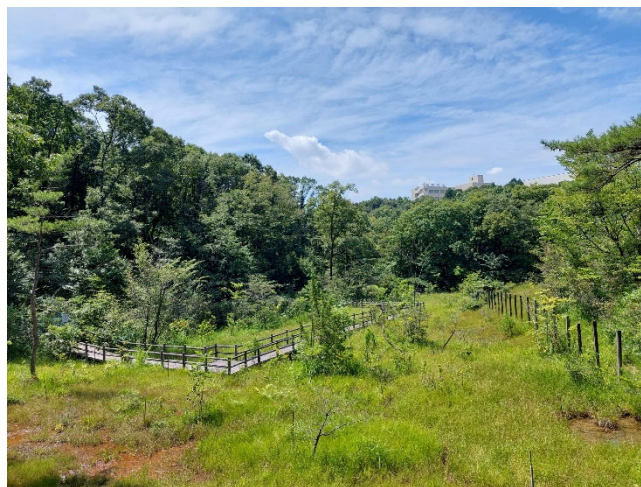
③ 熱心な保全活動、環境教育の場

「水源の森と八竜湿地を守る会」や「金城学院大学里山コンサベーション（KSC）」による熱心な保全活動により、里地里山が適切に維持されているとともに、小学校の総合学習や大学の授業・サークル活動など環境教育の場としても有効に活用されている。

④ その他

生物多様性保全上の重要性が既に環境省に認められるなど非常に重要な場所となっており、その点も今回の認定の要素となっています。

・「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」に選定（環境省、平成13年（27年改定））



八竜緑地 本湿地

認定区域：

